

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『医療観察法病棟における対象者の主体性とリカバリーに関する研究』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

研究期間のうち、2022年4月1日から2024年12月31日までの期間において国立精神・神経医療研究センター病院・医療観察法病棟に在院していた方、かつ、入院時に下記【試料・情報の利用目的及び利用方法】①～④のいずれかに回答された方

【研究期間】

2022年12月26日より2024年12月31日まで

【研究責任者】

国立精神・神経医療研究センター病院 作業療法士 天野英浩

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

- ①Five Subjective Personal Agency scale(SPA-5)
- ②OTプログラムの終了時アンケート
- ③日本版リカバリーアセスメントスケール(RAS)
- ④ローゼンバーグ自尊感情尺度
- ⑤基本属性(年齢、性別、入院期間)
- ⑥プログラムおよび面接時における電子カルテ記録情報

この研究の目的は、「OTプログラムが、より主体性の向上につながるようになるにはどうすればよいか」を調査することです。研究で得られた上記①～⑥の情報は、「皆様自身が治療を選び、選んだ治療を続けてゆくこと」、「内省の深まり」、「再他害行為の予防」につなげることを目的に利用します。

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 精神リハビリテーション部 氏名 天野英浩

電話番号 042-341-2711

e-mail:otamano※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)